

第18回バリアフリー推進勉強会in関西

【参加無料】

『みんなで考える広域移動のバリアフリー化をめざした合理的配慮の提供』

日本の公共交通機関におけるバリアフリー化整備は量的には充実してきましたが、広域移動では乗換時の支援、情報の連続性、駅の整備水準などが課題となっています。また、2024年4月より民間事業者には、「障害者差別解消法」における合理的配慮の提供が義務化され、今後さらなるハード・ソフト両面の取り組みが求められます。

このような状況を踏まえ、利用者、交通事業者、行政が一堂に会し、現状と課題を共有し、立場を超えた建設的な対話を行うことで、具体的な取り組みを考えるきっかけとします。

日時 2024年2月19日(月)13:30~16:10 (受付開始13:00)

会場 エル・おおさか(大阪府立労働センター) 6階 大会議室
(大阪市中央区北浜東3-14) ※会場アクセスは別紙を参照下さい。

定員 100名 (先着順)

申込方法 ※別紙の参加申込書をご確認の上、お申込み下さい。

申込期限 2024年2月13日(火)

情報保障 手話通訳、要約筆記

プログラム

13:30(5分)	開会挨拶	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団
13:35(20分)	趣旨説明	「広域移動の特性と円滑化の課題」 石塚裕子氏(東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授)
13:55(15分)	講演①	「視覚障害者の広域移動について」 海老澤弥生氏(きんきビジョンサポート)
14:10(15分)	講演②	「世界初の障害者・高齢者向けEnd-to-End マルチモーダル交通・体験プラットフォーム」 木川菜都子氏(Transreport Japan 代表取締役コマーシャル・事業開発 統括 ディレクター)
14:25(15分)	講演③	「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律 及び国土交通省対応指針について(仮)」 松田純氏(国土交通省総合政策局 バリアフリー政策課 課長補佐)
14:40(10分)	質疑応答	講演①~③の質疑応答
14:50(15分)	休憩	
15:05(60分)	パネルディスカッション	「現場で実践するための知恵と経験と挑戦」 パネリスト:海老澤弥生氏(きんきビジョンサポート) 伊藤薫氏(近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 大阪統括部 運輸部 運行課長) 山田賢氏(明石市政策局 インクルーシブ推進室 室長) 六條友聡氏(社会福祉法人ぽぽんがぽん) コーディネーター:石塚裕子氏(東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授)
16:05(5分)	閉会	

共催:公益財団法人関西交通経済研究センター/公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援:国土交通省近畿運輸局/公益社団法人土木学会関西支部(すべて予定)

お問合せ先:公益財団法人関西交通経済研究センター(TEL:06-6543-6291 FAX:06-6543-6295 E-mail:info@kankouken.org)

「第18回バリアフリー推進勉強会in関西」登壇者紹介

■趣旨説明・コーディネーター

○石塚 裕子(いしづか ゆうこ)氏／東北福祉大学 総合マネジメント学部 教授



東北福祉大学総合マネジメント学部教授、博士(工学)、
技術士(都市及び地方計画)、日本福祉のまちづくり学会副会長。
専門は、協働のまちづくり、バリアフリー計画学、
観光・防災のユニバーサルデザイン。
主な著書「誰もがく助かる社会」新曜社(編著)、
「やっかいな問題はみんなで解く」世界思想社(分担)など

■講演者・パネリスト

○海老澤 弥生(えびざわ やよい)氏／きんきビジョンサポート

視覚障害1級。ボランティアとしてきんきビジョンサポートに所属し、相談担当と見えない・見えにくい女性の会「茶・い・夢」を発足。
おしゃべり会や旅行を楽しむ傍ら、池田市内の全公共施設のバリアフリー調査をきっかけにUDに興味を持って20年、池田市バリアフリー推進協議会委員・万博博覧会当事者委員となり、見えないから見えてくる視点を、またダイアログインザダークの企業向け外部開催では、アテンドとなり見えないからこそその豊かさも伝えている。

■講演者

○木川 菜都子(きかわ なつこ)氏／Transreport Japan 代表取締役コマーシャル・事業開発 統括 ディレクター



新卒で外資系経営コンサルティングファームにて、5年間アフリカ・東南アジアを中心に大企業の新規市場開拓・事業創出プロジェクトおよび EU 政府・内閣府・JICA・経産省等の政府案件も幅広く従事。国内外の大企業、中小企業及び海外スタートアップを100社以上支援。その後、Transreport および阪急電鉄との協業・戦略パートナーシップの締結ならびに阪急阪神ホールディングス CVC からの出資クロージングに従事し、2023年6月より Transreport に参画。Transreport の日本チームの組成、および日本における事業拡大を担う。

○松田 純(まつだ じゅん)氏／国土交通省総合政策局 バリアフリー政策課 課長補佐



平成30年7月 総合政策局環境政策課専門官
令和2年7月 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室参事官補佐
令和2年11月 航空局管制部管制技術課調査官
令和3年8月 航空局航空事業安全監査室課長補佐
令和5年7月 総合政策局総務課公共交通事故被害者支援企画調整官
(併)バリアフリー政策課課長補佐

■パネリスト

○伊藤 薫(いとう かおる)氏／近畿日本鉄道株式会社 鉄道本部 大阪統括部 運輸部 運行課長



2011年、京都大学大学院 工学研究科電気工学専攻修了、近畿日本鉄道株式会社(現・近鉄グループホールディングス株式会社)入社。
鉄道電気施設の維持管理、更新工事の計画、施工管理等に従事し、
2022年より現職。
券売機、改札機はじめ駅のお客様サービス機器や、乗務員・駅係員など運輸社員向けの後方施設の新設、改善、更新工事を担当している。

○山田 賢(やまだ けん)氏／明石市政策局 インクルーシブ推進室 室長



1998年明石市入庁。介護保険や障害福祉の担当を経て、2014年4月より新設された障害者施策担当に配属され、障害者配慮条例の検討・制定に携わる。
その後も多くの障害当事者や支援者と関わりながら実質的な当事者参画を推進し、さらなる包括的指針として打ち出した「あかしインクルーシブ条例(2022年3月制定)」の検討を牽引。その後も様々な障害理解の啓発に関わる取組を提案し実行し続けている。2023年4月よりインクルーシブ推進室長。

○六條 友聡(ろくじょう ともあき)氏／社会福祉法人ぽぽんがぽん



身体の筋肉が萎縮し筋力が低下する先天性ミオパチーという病気による四肢機能障害で、電動車いすに乗って生活している。
社会福祉法人ぽぽんがぽん 勤務。
バリアフリーの取り組みとして以下の委員を担っている。
茨木市総合交通戦略会議、交通バリアフリー基本構想協議会、
移動等円滑化評価会議 近畿分科会